

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第85回理事会

平成18年1月

特選WORLDへ2巻見-2巻見
77クヌ 03-2212-0279
Lynx@comcast.net

✓

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840.



竹島の日

日韓友情年が
中韓連帯年に

論説委員 金子 秀敏

今年には日韓国交正常化40周年を記念する「日韓友情年」だった。ボスターが外務省の構内に張ってある。それを見た某国の大使館員に言われた。「日韓外交の失敗を宣はしてみたいだね」

今年の初めはまた昨年来の「冬ソナ」「韓流」のブームが続いていた。「友情年」の滑り出しは順調に見えた。

幽霊が狂い出すのは3月。農林水産省の「竹島の白条例」制定が

今年、日本外交が全力を挙げて取り組むべき目標は、国連安全保障理事会の常任理事国入りだった。近隣国はかならず反対する。だから韓国や中国の抵抗を最小限におさえる戦術も必要になる。

今年は日韓国交正常化40周年を記念する「日韓友情年」だった。ボスターが外務省の構内に張ってある。それを見た某国の大使館員に言われた。「日韓外交の失敗を宣はしてみたいだね」

今年、日本外交が全力を挙げて取り組むべき目標は、国連安全保障理事会の常任理事国入りだった。近隣国はかならず反対する。だから韓国や中国の抵抗を最小限におさえる戦術も必要になる。

首相官邸は、なぜ「政府の大切な国連外交の邪魔になる。今年は遠慮してくれ」と農林水産省を説得しなかつたのだろうか。

国際世論は、暴力的な反日デモに冷たい目を向けたが、日本の常任理事国入りという問題にうかつに手を出すと中国と面倒なことになるということも理解した。

2006.1.12 日

前から懸案となっていた、日本、中国、韓国の3国による「日中韓文化交流フォーラム」が、昨年12月に韓国・ソウルで設立され、第1回会合が当地で開かれた。余白には私をはじめ、中国から劉樹行・劉外文化交流協会副会長（元文化相次官）、韓国からは金容雲・韓日文化交流会議委員長ら各団の文化にたずさわる民間の関係者が参加した。

なぜ今、3国の文化的指導者が集まってこのようなフォーラムを設立したのか？ 呼びかけの中心になった立場から、結成の理由や意義、活動内容について述べてみたい。現在の日中、日韓の外交的行き詰まりは、想像以上に厳しい。この状況を乗り越えるには、構造的で強固な民間交流が極めて大切と考えるのが、第1の理由である。中国では日中の交流について「政治熱」と言われていたが、「政治熱」となり、現在は「政治冷感」と危機感されている。

日中関係は今や、正常化後の最悪の状況である。日中両国にとって大きな損失である。このような状況には、幾つかの原因がある。歴史認識

や教科書問題が大きい。朝鮮半島の関係者だけという偏見のない意見を交わすこと、韓国も同様だ。私は「日韓文化交流会議」の日本側議長はボイコットしたのである。私は、中国との文化交流が「日中友好年2006」の実行委員長でもある。昨年9月にはソウルで友誼年を記念するシンポジウムを開いた。だが、出席者は主

し合ひもそうなのだが、自由な武器や乏しい弾薬しかないにもかかわらず「一億大韓」が主張されている。中韓戦では、私と同年生の中学生在が玉砕している。もし半月でも早くボツダム宣言を受け入れていたら、広島や長崎の原爆は免れていたかもしれない。戦後60年を経た今、日本と中国、韓国、言い換えれば加害者と被害者とのギャップがかえって大きくなっているようにも見えるのは残念なことである。

困難な関係打開を願う

「日中韓文化交流フォーラム」設立に寄せて

平山 郁夫



第1回日中韓文化交流フォーラムで（右から）平山郁夫、金容雲、劉樹行氏

め韓国との人脈もあり、敵対を拒む青年による交流のほかに、中高生のホームステイ、市民間主導にスポーツ交流、文化シンポジウム、美術展、音楽会などの芸術活動と、多彩な行事を展開している。戦争の証人は高齢化してきている。まして、次世代の働き盛りの日本人は戦後生まれで、戦争の実感認識は乏しい。今こそが、正確な資料などで学術的な接点を作るべき時間ではない。この気持ちを核に、未来に向かって豊かで創造的な関係を目指して設立したのが、この「日中韓文化交流フォーラム」なのである。

問題について、私自身、この会合での話から、共通の歴史認識を築くことが、平和と文化の発展につながることを願っている。戦争末期には、旧式な武器や乏しい弾薬しかないにもかかわらず「一億大韓」が主張されている。中韓戦では、私と同年生の中学生在が玉砕している。もし半月でも早くボツダム宣言を受け入れていたら、広島や長崎の原爆は免れていたかもしれない。戦後60年を経た今、日本と中国、韓国、言い換えれば加害者と被害者とのギャップがかえって大きくなっているようにも見えるのは残念なことである。

2006.1.17

日本の東アジア外交

—— 諸国間をめぐり中国の外交が活発化している。日本は、中国の外交政策を注視し、自国の外交政策を調整している。中国の外交政策は、日本にとって重要な課題である。中国の外交政策は、日本にとって重要な課題である。中国の外交政策は、日本にとって重要な課題である。



日本国際交流センター・シニアフェロー。元外務省副大臣、元経済産業省副大臣、元アジア大洋州局長など歴任。59歳。

田中均氏

小泉政権下で解決策を

田中均氏 田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。

田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。



高田大学客員教授。専門は国際政治学、国際関係学。時事通信社リサーチ・アンド・アナリシス部長、外務省、経済産業省など歴任。72歳。

田中均氏 忠衛氏

田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。

田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。

日米同盟活用すべきだ

田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。

田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。

陣論

田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。

田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。田中均氏は、小泉政権下で解決策を模索している。

2006.1.24 毎日

中国が「SAYURI」上映中止

「慰安婦を想起 反日感情悪化」

香港紙報道

【香港・成沢健二】23日付の香港紙「東方日報」は、中国のトップ女優、コン・リー（コン・リー）さんなどが、来月10日に中国で公開される映画「SAYURI」（ロフ・マーシャ）の初上映が中止されたことを報じた。中国人女優の熊子怡（チャン・ダ）といった批判の巻き

添み相次いでいた。報の芸術家を演じている。道によると、中国では来月10日に上映が始まる予定だったが、国家放送映画テレビ総局が「扱うテーマが敏感」との理由で中止を決めた。その後の上映計画についても暫くの間、可能性は低いという。

「SAYURI」は、スティーブン・スピルバ

ジエシタノ表記で火種残す

「シワ」等の表紙となつた。その裏には残したといふ。
をめぐり、政府に「自派」を「調整役」として奔走してもらつたのは政治案件だ。
内で対立を生んでいた男が、安倍は「官房長官の存在」にして「席原に振り回され
た共同参画基本計画」(第一作)が大きい。ただ、この「有り」ように、副大臣政
「次」は、猪口邦子担当「問題」をめぐって、新人秘書「務」をめぐり「話」をして
相が大幅修正に応じた。男「小泉チルドレン」とくたさい」
ことで「転」した年内の閣内閣議員との間には不仲。安倍氏には六月夜、都内
議決定が実現する見通しが生まれ、今後火種をの会合で猪口氏に「手」を

刺すと同時に、が、外資に向けてより押しつけてき、呼び、基本計画の問題点、点とはどうも言えないが、かなり改善された。まあ痛み分けた」と新正、ただ、新人議員には、三平部の議員による修正で骨抜きになったとの不満の声も残っている。

シエンター表記で

八種残す

十八 (PT) 内長 危機感を感じた安田氏
逢沢 郎幹事長代理 は十七日夕、山口泰明副
はもとより口が主導し 大貝、山合えり子政務官
できただけに閣議決定 らをひきかには首相官邸に
PT幹部の一人は満

安倍氏、調整に

奔走

國がれてゐた。基本計画
 新人議員有志が猪口氏を
 出批判的な過激な佳教
 後押しする提議を出した
 高杉の父が物事に教
 こそあり、党内には不
 極な空気が漂つた。
 務所にバツバをかけた
 エツタ少をめる表記な
 どを次々に変更させた。
 氏は出陣に会合を開

女性議員増やすには

戦後60年の原点

日本の衆院議員に女性が占める年代から女性団体が候補者リスト割合は約9%。列国議会同盟(CIP)を作った人材を擁護し、女性議員の今年10月時点の調査で見ると増やす上場となったという。85と全体の10%位と極端に低い。年に設立された民主党政支持組織先進国であるにもかかわらず下位「エミリー・リスト」もその一つ。女性たちの運動から探ってみる。制度や日本では女性議員を増やす女性たちの運動から探ってみる。ネットワークしながら、元長野進藤久美子、東洋英和女子院大、県下諏訪町、津川通子さんの呼

日本の場合 制度、争点づくり必要

教授(米女性史、ジェンダー学) ひかりて90年に誕生。超党派で選は二性別役割意識の強い国では、半のソウハツや地方自治を学ぶ。比例代表名簿の一定割合を女性に座を開いてきた。

必要ではないか」と見る。クオ(ウイメン)も超党派。赤松「クオ」は、公的機関の委員や政見、良子元文相らの呼びかけで増え、候補者の一定比率を女性に割りだ。米の「エミリー・リスト」に倣って新人候補を選び、会員はクオ・タ制のない米国では、70

今秋の衆院選では9人に援助したが、一部会派から候補者選考に異論が出た。超党派は女性議員を増やすのに良いと考えてきたが、今後は所属政党の政策チェックが必要かもしれないと赤松さん。「しなの」の津川さんは「女性議員に求められる政策課題や資質

も変化するのでは」と語る。当初から活動を10年と決め、今年度で区切りをつける。

進藤教授は争点作りの必要性も指摘。「米国では70年代、母子家庭の増加や妊娠中絶の是非が大きな問題になった。女性票を意識した課題の設定が重要」と話す。

【生活家庭部・大和山香織】



男女共同参画計画見直し

男女とも性別にかかわりなく個性や能力が発揮できる社会を目指すため、政府が00年に策定した「男女共同参画基本計画」を見直し、今後6年間の政策の方向性を示す新計画が年内にも閣議決定される見通しだ。見直し作業では、基本計画にある社会的・文化的に形成された性別（ジェンダー）の表記を新計画に盛り込むか否かを巡って議論になっており、政府・与党内で最終調整が行われている。「石田浩子」

◆党内で分かれる議論
「ジェンダー」の視点は、社会における男女の役割について、固定的に決める物の見方に対し、

「ジェンダー」表記めぐり議論

開いた猪口邦子・男女共同参画担当相を訪ね「シエンダー」という概念について、だその2日前、猪口氏を求める提言書を手渡した。猪口氏はその場、激的な教育・ジェンダーフリー教育実施推進プロジェクト（P.T.）の時期にいたった。シエンダーという概念について、だその2日前、猪口氏を求める提言書を手渡した。猪口氏はその場、激的な教育・ジェンダーフリー教育実施推進プロジェクト（P.T.）の時期にいたった。

定義明確にし決着へ

し入れていた。

「ジェンダー」と「シエンダーフリー」

「ジェンダー」という言葉は生物学的な性別を示す「セックス」に対する概念で「社会的・文化的に作り上げられた性別をいい、国連などの国際機関でも使われている。ジェンダーフリー」は、その社会的・文化的性別（ジェンダー）を押し付

けないという考え方だ。だが、ここ数年、すべいという免側の配慮も働いたようだ。内閣府は「正しいジェンダーの視点を持って施策を進めていく企業や団体に対し、内閣が後援したという旗指が地方議会などから相次ぎ、「ジェンダー」という表現も使わないよう求める声が出ていた。内閣府は、男女同室をより明確にすることを考えた。新計画では「社会的性別（ジェンダー）」と短く表現し、「社会的性別はそれ自体に良い、悪いの価値を含むものではない」と明記する方針だ。

政治的決着

だが、ここに至り政治的な決着を標榜する動きも出てきた。自民党P.T.の申しさや男女の区別をなくし、家族やひな祭りといった伝統文化をなくすことは、基本法が自指すところではない」との説明も盛り込む方向で最後の総理候補を矢面に立終調整される見込みだ。

真の平等へ欠かせぬ概念

鹿嶋敬・実践女子大教授「真に平等な社会を作る上でジェンダーはなくてはならぬ。単に男女差別をなくすだけでなく、差別にない大事な概念で今後至る『偏見』や『優越感』もどう啓発・周知していくか、実質的な平等をかがポイントだ。



猪口邦子（左）と男女共同参画担当相（右）が「基本計画」について提言書を送る猪口・男女共同参画担当相（左）

男女共同参画基本計画

男女共同参画基本法に基づいて策定され、①2020年までに社会のあらゆる分野で指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度になるよう取り組む②女性が再チャレンジできる支援策を拡充する③防災・災害復興などの分野で男女共同参画を推進する——など重点項目を挙げている。「ジェンダー」については男女共同参画会議が7月に策定した「今後の施策の基本的方向と具体的取り組み」の中で、社会的・文化的に形成された性別（ジェンダー）に敏感な視点を定着させると記され、「広報・啓発活動を展開する」となっていた。

問題意識を持っていくとすることであり、国際的にも重要だ。今月14日、衆議院（9月）で初選した「自民党男女共同参画新人議員勉強会」の会長、萩原誠司議員らが、同月で初入

2005.12.27 産経

男女共同参画

基本計画きょう開議決定

政府の男女共同参画会議（第2次）を小泉純一郎首相が先週、夢も希望も持たずに「強い不快感を」
（議長、安倍晋三首相）に提出した。基本計画は中絶した。基本計画では、重点事項を表明するなど、新人対中
が十六日、首相官邸で開かれた。七日に閣議決定された。項目として、平成十八年度から五年間で、
男女共同参画社会の実現。政府と自民党が対立、大幅に女性参画が削減される。新人議員でも井上由
に同じ、平成十八年度から五年間で、修正された同計画だが、首相と自民党に具体的施策を盛り
年間の基本方針と施策をまとめた。今日の選挙で自民党は女性が入った。注目された「シエ
めた男女共同参画基本計画」の議員が増えた。男も女も「シエ」の表（社会的性別）の表
基本計画きょう開議決定
記は「シエ」を明
に否定する消釈を入れるこ
とを残した。

「ジェンダー」で亀裂

「シエ」は男女共
同参画を進めるために必
要な概念。私が先頭に立
てて正しい普及啓蒙を道
めていきたい。

二十六日の男女共同参
画会議で、猪口邦子担当
相はこう抱負を述べた。
が、笑顔はなく、基本計
画をめぐる政府・自民党
のせめぎ合いの激しさを
うかがわせた。

自民党が内閣府の男女
共同参画局の動きに警戒
感を示したのは昨年
秋のこと。「過激な性教
育やシエ」フリー教
任した安倍氏は、山谷民

「シエ」は男女共
同参画を進めるために必
要な概念。私が先頭に立
てて正しい普及啓蒙を道
めていきたい。

「シエ」は男女共
同参画を進めるために必
要な概念。私が先頭に立
てて正しい普及啓蒙を道
めていきたい。

「シエ」は男女共
同参画を進めるために必
要な概念。私が先頭に立
てて正しい普及啓蒙を道
めていきたい。

「シエ」は男女共
同参画を進めるために必
要な概念。私が先頭に立
てて正しい普及啓蒙を道
めていきたい。

「シエ」は男女共
同参画を進めるために必
要な概念。私が先頭に立
てて正しい普及啓蒙を道
めていきたい。

「シエ」は男女共
同参画を進めるために必
要な概念。私が先頭に立
てて正しい普及啓蒙を道
めていきたい。

「シエ」は男女共
同参画を進めるために必
要な概念。私が先頭に立
てて正しい普及啓蒙を道
めていきたい。

「シエ」は男女共
同参画を進めるために必
要な概念。私が先頭に立
てて正しい普及啓蒙を道
めていきたい。

「シエ」は男女共
同参画を進めるために必
要な概念。私が先頭に立
てて正しい普及啓蒙を道
めていきたい。

自民「新人VS.中堅」対立激化

「シエ」は男女共
同参画を進めるために必
要な概念。私が先頭に立
てて正しい普及啓蒙を道
めていきたい。

Program aims to reform domestic abusers

Rehabilitation classes seek to halt surge in violence in Japanese homes

By MASAMI ITO

For years, Masaru Suzuki used threats and physical violence to control his wife. Whenever he did not get his way, he lashed out at her verbally or with hands that were all too ready to strike.

Suzuki is one of the thousands of domestic-violence perpetrators in Japan.

Be it inside the home or in public, Suzuki said, he screamed at his wife if she did not act according to his wishes. If she became hysterical, he grabbed her by her arms and shook her.

One time, when his wife was about six months pregnant with their first child, Suzuki beat her and later had to rush her to a hospital.

"I was the patriarch, using whatever method necessary to get my own way," Suzuki said. "Not once did I think I was doing anything wrong."

Finally, in August 2004, his wife took their two daughters and left him.

"That was when I knew I had to do something about (my problem)," Suzuki said.

Domestic violence is on the rise in Japan and Suzuki's case is only the tip of the iceberg.

According to data from the National Police Agency, there were 14,410 acknowledged cases of domestic violence in 2004, a 14.7 percent increase from 2003.

As a result of domestic violence, the 2004 NPA data show there were 1,094 arrests for murder, 75 for rape and 711 for injury.

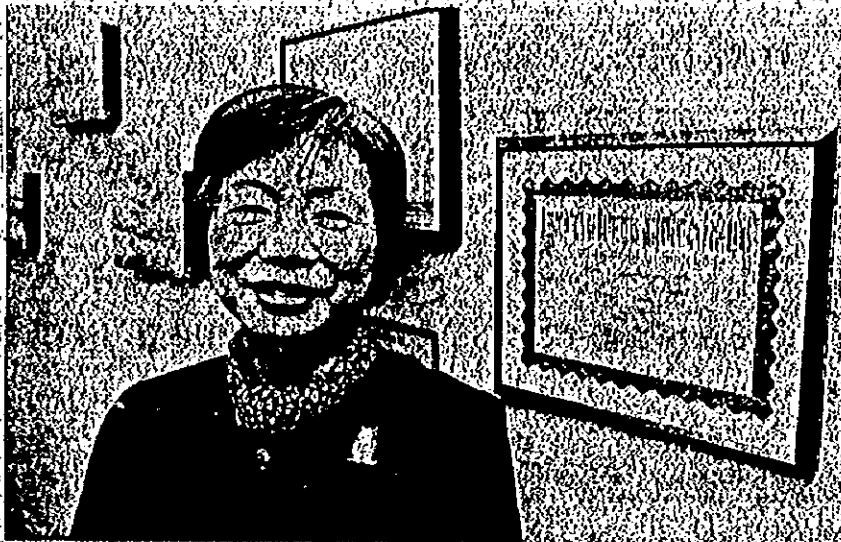
Offenders can be punished by law, but experts on the issue say the government needs to create a legal framework to help rehabilitate the offenders.

If the experts are right about rehabilitation, Suzuki is one of the lucky ones.

In October 2004, he joined Aware, one of Japan's few rehabilitation facilities for abusive partners.

At weekly meetings, men gather from prefectures as far apart as Iwate, Nagano and Shizuoka. Together with facilitator and Aware founder Noriko Yamaguchi, they discuss their problem.

During the meetings, participants share opinions on topics such as what constitutes violence, the want and need for power and control over partners, stress man-



NORIKO YAMAGUCHI, founder of Aware, poses in front of a certificate designating her as a facilitator for a domestic violence offenders' rehabilitation program. YOSHINORI KURA PHOTO

agement and other issues.

The program (at Aware) is not medical treatment; it is education," Yamaguchi said.

"Some specialists see domestic violence as an addiction to violence, but that is not true because (the offenders) choose violence to gain control."

Since its establishment in April 2002, Yamaguchi estimates that more than 100 abusers have sought help from Aware. At present, about 25 men are taking part in the program, including Suzuki. However, many don't finish the program.

Yamaguchi said there is nothing she can do about that because there is no law forcing abusers to participate in such programs.

The law against domestic violence was only enacted in 2001, and its first revision took effect in December 2004.

The revised law expanded the definition of domestic violence to include not just physical but also psychological abuse. It also calls on local governments to create guidelines to further prevent domestic abuse and to provide support for victims.

But experts point out Japan's legal system does not have any specific guidelines for forcing perpetrators of domestic violence to participate in a rehabilitation program.

"Only legal power, or public authorities, can give awareness to (offenders) who do not

even realize they are being abusive," Yamaguchi said. Japan can look for some examples to follow abroad.

In California, the penal code states that an arrested offender who has been released on probation will be monitored by a probation officer and must participate in a rehabilitation program for at least a year.

If the offender complies with all of the rules and does not break any other laws, the abuser's criminal record will be cleared.

"We have the same (law) for drugs, too," said Alyce LaViolette, cochair of the California Association of Batterers' Intervention Programs. "It is to give people a chance to get better, give people a chance to improve without ruining their record."

LaViolette was in Japan in October to talk to government officials about her program for offenders and to explain the law against them in California.

She stressed the need for a law in Japan to force perpetrators to participate in programs "because you need to create a law that doesn't do damage to the people you are trying to help... we need to look at the effect on the abused and the abuser," she said.

As one of the pioneers in establishing a program to rehabilitate domestic-violence offenders, LaViolette has also been active in training facilitators like Aware's Yamaguchi.

Throughout her 26-year career in the field, LaViolette has dealt with many perpetrators.

In the beginning, she said, not everyone working with survivors at shelters was supportive. Some of those who were helping victims were upset that she began working with the abusive males and asked her why she was devoting her energy to them.

"Women at a battered women's shelter generally have suffered some of the worst abuse," LaViolette explained, adding that their injuries and suffering were often beyond belief.

LaViolette worked with perpetrators "because one of them can batter many different women," she said. "And I wanted to see (the offenders) change."

It is true not everybody can be rehabilitated, LaViolette pointed out, but there are offenders like Suzuki who really do want to change.

Suzuki has been participating in the program at Aware for more than a year but said he will continue until he feels he is someone who will do good for his family, not harm.

"I am a perpetrator, a criminal-offender," Suzuki said. "I just have not been arrested yet. But there are people out there who need to be arrested to truly understand that what they are doing is a criminal act of violence, before it's too late."

2006.1.10 日(夕)

上野千鶴子さんの講演

国分寺市託



上野千鶴子
東大大学院教授

都「女性学の権威」と拒否

「ジェンダー・フリー」使うかも…

東京都国分寺市が、都の委託で計画していた人権学習の講座で、上野千鶴子・東大大学院教授(社会学)を講師に招こうとしたところ、都教育

庁が「ジェンダー・フリー」に対する都の理解に合わない」と委託を拒否していたことが分かった。都は昨年8月、「ジェンダー・フリー」の用

「見解合わない」理由に

語や概念を使わない方針を打ち出したが、上野教授は「私はむしろジェンダー・フリーの用語を使うことは避けてい

る。都の委託拒否は見解不足だ」と批判している。講座は文科科学省が昨年度から始めた「人権教育推進のための調査研究事業」の一環。同省の委託を受けた都道府県

教委が、区市町村教委に再委託している。国分寺市は昨年8月、都に概要の内諾を得たうえで、市民を交えた協議会をつくり、高齢者福祉や子育てなどを題

材に計12回の連続講座を企画した。上野教授には、人権意識をテーマに初回の基調講演を依頼しようと同7月、市が都に講師の相談をした。しかし都が難色を示し、事実上、講師の変更を迫られたという。

このため同市は同8月、委託の中断を取り下げ、講座そのものも中止となった。都教育庁生涯学習スポーツ部は「上野さんは女性学の権威。講演で『ジェンダー・フリー』の言葉や概念に触れる可能性があり、都の委託事業に認められない」と説明する。また、一昨年8月、都教委は参画に取り組み際に使われて

「(ジェンダー・フリーは)男らしさや女らしさをすべて否定する意味で用いられていることがある」として、「男女平等教育を推進する上で使えない」との見解をまとめた。

「五味香織」

ジェンダー・フリー 社会的・文化的な性差「ジェンダー」をなくす意味で用いられる和製英語。90年代半ば以降、「男らしさ」「女らしさ」を押しつけない「ジェンダー・フリー」の考えが広まり、自治体などが男女共同参画に取り組み際に使われて

横浜の市民劇団による朗読劇「ひまわり」DVをのりこえて」が評判を呼んでいる。夫や恋人から暴力(DV)を受けた女性の体験をもとに作った作品。公演依頼が相次いでいるため、台本や上演ビデオなどを地方の活動グループに譲り、「それぞれの体験を語り継いで」と自主公演を応援する活動にも乗り出した。

「ひまわり」は、被害女性からの相談に応じている財団法人「横浜市男女共同参画推進協会」が2004年、台本を作った。市民から出演者を公募して作った劇団「オンリーワン」が公演している。劇団には母親や友人が被害者だったという人や、朗読経験者など約40人が集まっている。

朗読劇は、DVをテーマにオムニバス形式で構成されている。夫の顔色をつかがいながら暮らす女性が、家を出て子どもと生活する中で、自分本来の姿を取り戻していく過程を描くなど、夫や恋人のためではなく、

横浜の市民劇団 DV朗読劇 好評

劇団「オンリーワン」による朗読劇「ひまわり」の公演(横浜 市男女共同参画推進協会提供)



自分のために生きることの大切さを強調している。

これまで首都圏をはじめ、仙台や名古屋の女性センターなど全国18か所で公演を行い、3000人以上の観客を集めた。

大きな関心を集め、上演依頼が相次いでいるが、アマチュア劇団として

台本提供 各地での公演応援

ての限界もあり、すべてに応じて地方公演することは難しい。そこで同協会では、上演を希望するグループに、オンリーワンの舞台を収録したビデオや台本などを実費でわけ、それぞれの「ひまわり」を演じてもらうことにした。これまでに岡山、北九州、静岡の3グループが自主公演を行った。

同協会の小園弥生さんは「劇団の参加者から『被害者の声を自分に重ね、生き方を振り返る機会になった』という声を聞く。この劇は、見る人だけでなく演じる人にも、多くのことを気づかせてくれます」と話している。

オンリーワンは東京都山手区(1月21日)、同台東区(同28日)、神奈川県横浜(2月5日)、横浜市(同18日)などで公演を予定している。

台本やビデオについての問い合わせは、同協会(045・862・5141)へ。

くらし 家庭

Asian Women's Fund

アジア女性基金が果たしてきた役割

— 償い事業を振興 —

政府と国民の参加により行われた元「慰安婦」女性に対する償い事業は続いた。財団法人女性のためのアジア平和国民基金関係者と政府関係者が、それぞれにその果たした役割を語りました。



「女性の立場からいえば、
『私の人生を壊して』という
ことですからね。」

●問い合わせ先
アジア女性基金事務局
〒100-0001 東京都千代田区千代田2-2-1
TEL 03-5561-4072 FAX 03-5561-4073
E-MAIL: aiaa@nifty.com, aiaa@nifty.or.jp

- アジア女性基金会長**
- 1995年 12月 第1回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 1996年 04月 第2回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 1996年 08月 第3回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 1996年 12月 第4回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 1997年 04月 第5回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 1997年 08月 第6回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 1997年 12月 第7回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 1998年 04月 第8回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 1998年 08月 第9回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 1998年 12月 第10回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 1999年 04月 第11回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 1999年 08月 第12回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 1999年 12月 第13回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2000年 04月 第14回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2000年 08月 第15回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2000年 12月 第16回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2001年 04月 第17回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2001年 08月 第18回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2001年 12月 第19回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2002年 04月 第20回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2002年 08月 第21回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2002年 12月 第22回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2003年 04月 第23回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2003年 08月 第24回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2003年 12月 第25回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2004年 04月 第26回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2004年 08月 第27回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2004年 12月 第28回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2005年 04月 第29回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2005年 08月 第30回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2005年 12月 第31回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2006年 04月 第32回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2006年 08月 第33回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2006年 12月 第34回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2007年 04月 第35回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2007年 08月 第36回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2007年 12月 第37回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2008年 04月 第38回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2008年 08月 第39回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2008年 12月 第40回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2009年 04月 第41回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2009年 08月 第42回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2009年 12月 第43回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2010年 04月 第44回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2010年 08月 第45回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2010年 12月 第46回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2011年 04月 第47回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2011年 08月 第48回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2011年 12月 第49回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2012年 04月 第50回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2012年 08月 第51回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2012年 12月 第52回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2013年 04月 第53回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2013年 08月 第54回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2013年 12月 第55回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2014年 04月 第56回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2014年 08月 第57回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2014年 12月 第58回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2015年 04月 第59回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2015年 08月 第60回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2015年 12月 第61回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2016年 04月 第62回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2016年 08月 第63回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2016年 12月 第64回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2017年 04月 第65回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2017年 08月 第66回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2017年 12月 第67回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2018年 04月 第68回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2018年 08月 第69回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2018年 12月 第70回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2019年 04月 第71回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2019年 08月 第72回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2019年 12月 第73回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2020年 04月 第74回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2020年 08月 第75回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2020年 12月 第76回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2021年 04月 第77回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2021年 08月 第78回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2021年 12月 第79回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2022年 04月 第80回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2022年 08月 第81回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2022年 12月 第82回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2023年 04月 第83回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2023年 08月 第84回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2023年 12月 第85回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2024年 04月 第86回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2024年 08月 第87回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2024年 12月 第88回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2025年 04月 第89回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2025年 08月 第90回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2025年 12月 第91回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2026年 04月 第92回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2026年 08月 第93回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2026年 12月 第94回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2027年 04月 第95回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2027年 08月 第96回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2027年 12月 第97回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2028年 04月 第98回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2028年 08月 第99回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。
 - 2028年 12月 第100回総会開催。元「慰安婦」女性代表者による報告と謝辞。

① 設立の経緯

「この事業の意義を将来につなげる
という役割も政府にあると思います。」

古川 典二郎氏
元「慰安婦」女性代表者



古川 典二郎氏
元「慰安婦」女性代表者

② 個人の経験は?

「女性の立場からいえば、
『私の人生を壊して』という
ことですからね。」

高橋 典子氏
元「慰安婦」女性代表者

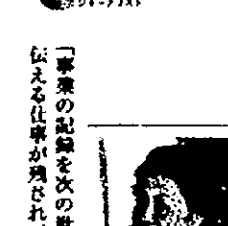


高橋 典子氏
元「慰安婦」女性代表者

③ 国民の反応

「この事業の意義を将来につなげる
という役割も政府にあると思います。」

有馬 典子氏
元「慰安婦」女性代表者

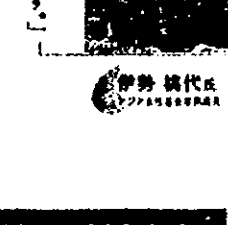


有馬 典子氏
元「慰安婦」女性代表者

④ 政府の参加

「この事業の意義を将来につなげる
という役割も政府にあると思います。」

伊勢 典子氏
元「慰安婦」女性代表者



伊勢 典子氏
元「慰安婦」女性代表者

⑤ 今後の展望

「この事業の意義を将来につなげる
という役割も政府にあると思います。」

伊勢 典子氏
元「慰安婦」女性代表者

**「戦争・暴力と女性」を語り合う
アジア女性基金公開フォーラム開催**

日時: 3月4日(木) 18:30~21:00(会場18:00)
会場: 主婦会館プラザエフ 8階スズラン(京・地下鉄有楽町線「四谷駅」から徒歩2分)
参加費: 先着100人、予約申込費(氏名の登録)
電話: 03-3514-4071 ファックス03-3514-4072 harada@nifty.or.jp

「だから、戦争」の論理と心理 ■ 女性、国民、アジアの視点から

企画/モデレーター: 上野 千鶴子(東京大学教授)
司会: 堀内 陽子(東京大学助教授)
講演: 中(東京大学教授)

主催: 財団法人女性のためのアジア平和国民基金 (アジア女性基金)
後援: 外務省
共催: 東京都政府
協賛: 東京都教育委員会

